

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果 各教科の調査結果と「強化事項」

○ 滋賀県小中学校の教員の皆さんへ	1
○ 「強化事項」の見方	2
○ 小学校 国語	3
○ 小学校 算数	5
○ 中学校 国語	7
○ 中学校 数学	9
○ 中学校 英語	11

令和元年8月22日

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

【滋賀県小中学校の教員の皆さんへ】

本県では、今年度より、「第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン」により、「読み解く力」の育成に重点をおいた取組を進めています。

新しいプランでは、子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図り、「読み解く力」の育成に重点において「学びを実感できる授業づくり」「学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり」「子どものために一丸となって取り組む学校づくり」の3つの視点から取組を推進しています。

各校では、これまでからも、子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、子どもたちが「できなかったこと」や「わからなかったこと」が「できるようになった」「わかるようになった」という喜びや自信をもち、その自信がさらなる向上への力となるよう、取組を進めてきていただきました。

しかしながら、平成31年度全国学力・学習状況調査の結果からは、学力や学習状況において、課題が十分に改善されていない状況がみられます。子どもたちが「確かな学力」を身に付けられるよう取り組むことは、子どもたちの学力保障や進路保障の観点で非常に重要であり、今一度、私たちの取組状況を確認し、より効果的な取組となるよう改善していきましょう。

○各教科の「強化事項」による取組

平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析した上で、今年度より継続的に、子どもたちのつまずきに着目した、**教科ごとの「強化事項」を示し、焦点化した取組**を進めます。

この「強化事項」は、**県内すべての小中学校において、下半期の授業等で実践していただくようお願い**します。

・補充学習プリント「ガッテンプリント」の継続的な取組

教科ごとに、「強化事項」に関連した特定の「ガッテンプリント」を配付します。

授業の時間や朝学習、放課後の時間を活用し、下半期に継続的に**指定したプリントを何度も繰り返し学習する取組**を進めます。

・「学びの基礎チャレンジ」の活用

今年度より、「学びの基礎チャレンジ」で「強化事項」に関連した「ガッテンプリント」の学習内容を含む問題を出題します。その問題の解答状況を踏まえ、子ども一人ひとりの学習状況を把握し、継続的に取り組んでいただくようお願いします。

○「まとめ」や「振り返り」の活動の充実

子ども一人ひとりが学びの成果を実感し、学んだことや意欲、問題意識等が、家庭学習や次の授業につながられるよう、授業の時間内に、しっかりと「まとめ」や「振り返り」の時間を確保して取り組みましょう。

本冊子では、各教科の問題別調査結果とともに、子どもたちのつまずきに注目して、教科ごとに「強化事項」を掲載しました。これからの指導の参考にしていただきますようお願いいたします。

「強化事項」の見方

「強化事項」の内容を示しています。

「強化事項」の実施方法や補充学習プリント「ガッテンプリント」の取組例を示しています。

「強化事項」に関連した「ガッテンプリント」を示しています。
下半期に継続的に何度も繰り返し学習するプリントになります。

今回の調査で課題が見られた問題を、つまずきの例とともに掲載しています。

【小学校国語】

下半期強化事項
漢字のもつ意味を考えながら、既習の漢字（同音異義語等）を、文や文章の中で正しく使うこと。

○取組の例
・新出漢字の学習の際には、漢字辞典を使い、漢字の読みや意味などを調べる活動を取り入れる。（中・高学年）
・朝学習や放課後の補充学習の際、「ガッテンプリント」などを活用し、漢字の学習を進める。さらに、学習状況に応じて「ガッテンプリント」などを配付し、繰り返し家庭学習で取り組む。（高学年）
・漢字による熟語などの語句の使用が増加する高学年では、同音異義語を使い分けた短作文の学習などを取り入れる。

○下半期に継続して取り組む「ガッテンプリント」

No	内容	No	内容
605	小学校の漢字の書き取り①②③④	1229	同音異義 ①②③④⑤
1205	漢字辞典を使おう①②③	1230	漢字の音と訓 ①②③④
1216	同訓異字 ①②③④⑤		

【課題】
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
○既習の漢字（同音異義語等）を、文や文章の中で正しく使うこと。

■課題が見られた調査問題

「報告する文章」の一部

そこで、地いきの人三十人を調査のたいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にかぎらず多くの友達に伝え、公衆電話について、かんしんをもってもらいたいと思います。

高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気がつき、書き直すことにしました。【報告する文章】の「部アからウのひらがなを、漢字で書いていきたいと思います。」

■つまずきの例
「感心」と解答
本県 51.7%

ウ	本県	29.6%
	全国	35.6%
	全国平均正答率との差	-6.0 p
	無解答率	4.4%

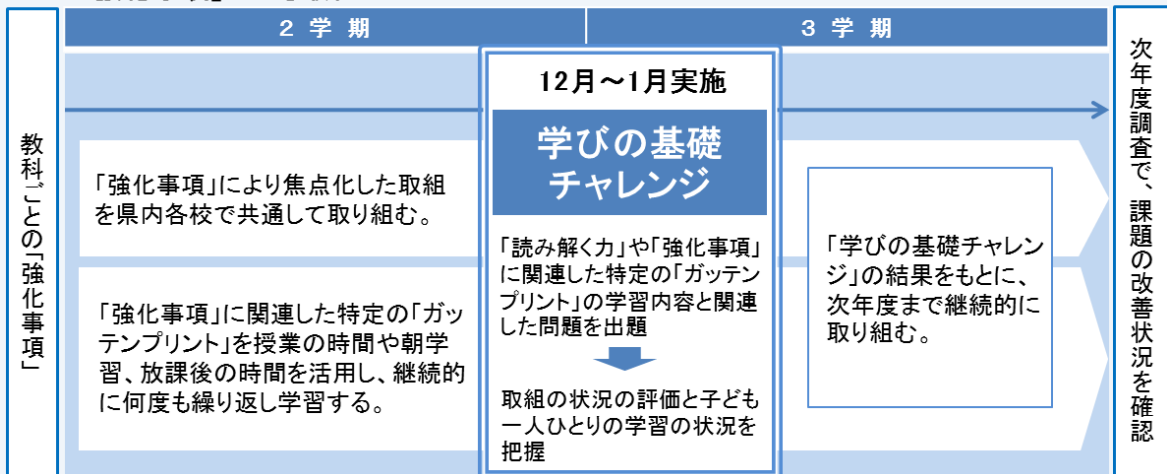
■つまずきの例
「対」と解答しているが、「しよう」を「家」以外で解答（「照」など）
本県 39.8%

ア	本県	31.5%
	全国	41.9%
	全国平均正答率との差	-10.4 p
	無解答率	8.5%

■つまずきの例
「イ」と解答しているが、「い」と解答している人が多かった。
本県 64.7%

イ	本県	64.7%
	全国	69.4%
	全国平均正答率との差	-4.7 p
	無解答率	13.4%

「強化事項」による取組



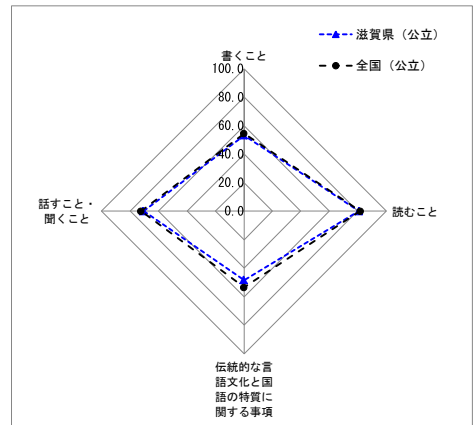
「学びの基礎チャレンジ」により、「強化事項」の取組を評価するとともに、子どもたちの学習の状況を把握します。その結果をもとに、次年度調査まで、継続的に取組を進めます。次年度調査の結果により、改善の状況を確認します。

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立）	全国（公立）	対象児童数	滋賀県（公立）	全国（公立）
	223	19,263		13,051	1,028,203
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			滋賀県（公立）	全国（公立）	
全体		14	61	63.8	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	70.6	72.3	
	書くこと	3	53.3	54.5	
	読むこと	3	80.8	81.7	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	48.4	53.5	
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	55.8	57.6	
	話す・聞く能力	3	70.6	72.3	
	書く能力	3	53.3	54.5	
	読む能力	3	80.8	81.7	
	言語についての知識・理解・技能	5	48.4	53.5	
問題形式	選択式	7	74.0	75.1	
	短答式	4	42.7	48.7	
	記述式	3	55.8	57.6	
従来の区分	「知識」に関連する問題	11	62.6	65.5	
	「活用」に関連する問題	14	61.2	63.8	
	読み解く力に関連する問題	9	68.3	69.5	

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等					問題形式	正答率（%）			無解答率（%）			読み解く力に関する問題		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	「知識」に関する問題		「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	滋賀県（公立）	全国（公立）		全国との差（公立）	滋賀県（公立）
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で（資料2）と（資料3）をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどを用いた目的を捉える	5・6 エ				○	○	○		70.3	71.2	-0.9	0.5	0.5	0.0	○
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「（2）公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える	5・6 ウ				○	○	○		60.5	63.4	-2.9	5.5	5.9	-0.4	○
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「」に、「2 調査の内容と結果」の（1）と（2）で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	5・6 ウ				○		○		29.2	28.8	0.4	4.0	3.8	0.2	○
1四（1）ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「ア」部分アを、漢字を使って書き直す（調査のたいししょう）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う			5・6 (1)ウ (ア)		○	○	○		31.5	41.9	-10.4	8.5	8.2	0.3	
1四（1）イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「イ」部分イを、漢字を使って書き直す（友達にかざらず）				5・6 (1)ウ (ア)		○	○	○		64.7	69.4	-4.7	13.4	12.1	1.3	
1四（1）ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の「ウ」部分ウを、漢字を使って書き直す（かんしんをもってもらいたい）				5・6 (1)ウ (ア)		○	○	○		29.6	35.6	-6.0	4.4	4.9	-0.5	
1四（2）	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「」の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く			3・4 (1)ウ (ウ)		○	○	○		44.7	47.8	-3.1	12.7	11.3	1.4	
2一（1）	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「ア」に入る「疑問に思ったこと」の①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む	5・6 ウ				○	○	○		80.3	80.7	-0.4	1.2	1.4	-0.2	○
2一（2）	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「イ」に「疑問に思ったこと」の②に対する答えになるように考えて書く		5・6 ウ				○		○		73.9	75.9	-2.0	5.4	5.0	0.4	○
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む	5・6 イ				○	○	○		88.3	88.5	-0.2	4.3	4.2	0.1	○
3一	昼職人への【インタビューの様子】の「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする	5・6 エ				○	○	○		81.2	81.3	-0.1	3.4	3.4	0.0	○
3二	昼職人への【インタビューの様子】の「イ」に入る、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	5・6 エ				○	○	○		66.3	67.4	-1.1	4.5	4.2	0.3	○
3三	【インタビューの様子】の「イ」に、昼職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	5・6 エ				○		○		64.3	68.2	-3.9	16.8	14.2	2.6	○
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の「ウ」に入る適切なものを選択する（留より慣れよ）	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる			3・4 (1)ア (イ)		○	○	○		71.3	73.0	-1.7	9.0	7.9	1.1	

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。

【小学校 国語】

下半期強化事項

漢字のもつ意味を考えながら、既習の漢字（同音異義語等）を、文や文章の中で正しく使うこと。

○取組の例

- ・新出漢字の学習の際には、漢字辞典を使い、漢字の読みや意味などを調べる活動を取り入れる。（中・高学年）
- ・朝学習や放課後の補充学習の際、「ガッテンプリント」などを活用し、漢字の学習を進める。さらに、学習状況に応じて「ガッテンプリント」などを配付し、繰り返し家庭学習で取り組む。（高学年）
- ・漢字による熟語などの語句の使用が増加する高学年では、同音異義語を使い分けた短文作りの学習などを取り入れる。

○下半期に継続して取り組む「ガッテンプリント」

No	内容	No	内容
605	小学校の漢字の書き取り①②③④	1229	同音異義 ①②③④⑤
1205	漢字辞典を使おう①②③	1230	漢字の音と訓 ①②③④
1216	同訓異字 ①②③④⑤		

【課題】

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

○既習の漢字（同音異義語等）を、文や文章の中で正しく使うこと。

■課題が見られた調査問題

1
四
(1)

高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっていくところがあることに気がつき、書き直すことにしました。【報告する文章】の——部アからウのひらがなを、漢字で正しいねいに書きましよう。

【報告する文章】の一部

そこで、地いきの人三十人を調査のたいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にかぎらず多くの友達に伝え、公衆電話についてかんしんをもってもらいたいと思います。

■つまずきの例
「感心」と解答

(51.7%)

ウ	
本県	29.6%
全国	35.6%
全国平均正答率との差	-6.0 p
無解答率	4.4%

イ	
本県	64.7%
全国	69.4%
全国平均正答率との差	-4.7 p
無解答率	13.4%

■つまずきの例
「対」と解答しているが、「しょう」を「象」以外で解答（「照」など）

(39.8%)

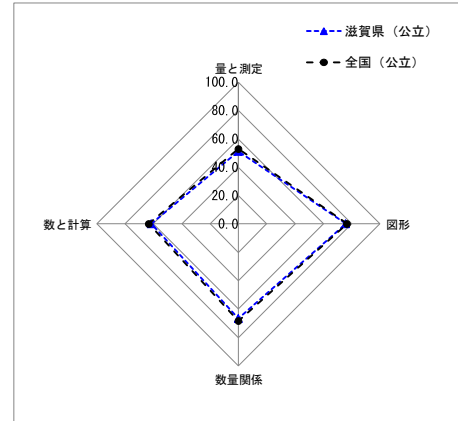
ア	
本県	31.5%
全国	41.9%
全国平均正答率との差	-10.4 p
無解答率	8.5%

・以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県(公立)	全国(公立)	対象児童数	滋賀県(公立)	全国(公立)
	223	19,260		13,058	1,028,177
分類	区分		対象問題数(問)	平均正答率(%)	
	全体			滋賀県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と計算		7	61.4	63.2
	量と測定		3	51.2	52.9
	図形		2	75.8	76.7
	数量関係		7	66.8	68.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度		0		
	数学的な考え方		8	60.8	62.2
	数量や図形についての技能		4	72.5	73.6
問題形式	数量や図形についての知識・理解		2	68.2	70.1
	選択式		5	74.6	75.7
	短答式		5	71.6	72.8
従来の区分	記述式		4	45.6	47.4
	「知識」に関連する問題		6	71.1	72.4
	「活用」に関連する問題		14	65.2	66.6
読み解く力に関連する問題			12	66.2	67.6

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域						問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			読み解く力に関する問題		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題		選択式	短答式	記述式	滋賀県(公立)	全国(公立)	全国との差(公立)		滋賀県(公立)	全国(公立)
1(1)	長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ	台形について理解している			4(1)アイ				○	○	○	92.7	93.1	-0.4	0.1	0.1	0.0	○
1(2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる			4(1)イ 5(1)イ			○	○	○	58.8	60.3	-1.5	0.9	0.6	0.3		
1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる			5(1)ア					○	43.5	43.9	-0.4	8.0	6.7	1.3	○	
2(1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる			3(3)ア			○	○	○	95.3	95.2	0.1	0.2	0.2	0.0	○	
2(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる	4(3)イ		3(3)ア			○		○	75.9	78.6	-2.7	1.0	1.0	0.0	○	
2(3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだだけを書く	資料の特徴や傾向に関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる			5(4)ア		3(3)ア			○	51.0	52.1	-1.1	2.0	2.0	0.0	○	
2(4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6+0.5 \times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4(6)ウ		4(2)ア			○	○		59.8	60.1	-0.3	0.9	1.0	-0.1		
3(1)	$350-97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる	3(2)イウ					○		○	80.9	81.8	-0.9	1.2	0.9	0.3	○	
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなのかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる	3(2)ウ 4(3)エ					○		○	28.5	31.1	-2.6	12.9	10.8	2.1	○	
3(3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる	4(3)イエ					○		○	73.2	74.9	-1.7	2.6	2.1	0.5	○	
3(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	示された除法の式の意味を理解している	5(3)アイウ		3(1)イ			○	○	○	43.8	47.0	-3.2	2.6	2.2	0.4	○	
4(1)	だいたい何分後に乗り物を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	目的に合った伴って変わる二つの数量を見いだすことができる			4(1)イ			○	○		82.4	82.7	-0.3	1.7	1.7	0.0	○	
4(2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求め式を書く	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる	3(3)イ					○		○	67.9	68.6	-0.7	4.8	4.4	0.4	○	
4(3)	残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる	5(4)ア		5(1)ア			○		○	59.3	62.6	-3.3	3.6	3.5	0.1	○	

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。

【小学校 算数】

下半期強化事項

式が表す意味を具体的に説明したり、式と図を関連付けて筋道を立てて説明したりすること。

○取組の例

- ・「数と計算」および「量と測定」の領域において、授業の中で式が表す意味を具体的な場面や図と関連付けて筋道を立てて説明する場を設定する。
- ・朝学習や放課後の補充学習の際、「数と計算」や「量と測定」領域の「割合」の学習に関連付けながら、繰り返し「ガッテンプリント」に取り組む。

○下半期に継続して取り組む「ガッテンプリント」

	「数と計算」に関する問題		「割合」に関する問題
6年	601、602、603	も 前 ※ 取 状 組 況 む に よ っ て、 前 の 学 年 の 問 題 に	601、602、603、604、609
5年	505、508		509、512、513、515、604
4年	406、411、412、415		401、405、414
3年			302、307、308、312、316
2年			201、206①②③
1年			102、103、104、105、106

【課題】

「数と計算」の領域

○式が表す意味を具体的な場面や図と関連付けて筋道を立てて説明する。

「量と測定」の領域

○単位量あたりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、問題の結果を筋道立てて説明する。

■課題が見られた調査問題

3(4)

(4) ゆいさんは、下の問題について考えています。

問題

リボンを0.6m買ったときの代金が180円でした。

このリボン1m分の代金は、いくらですか。

1m分の代金は $180 \div 0.6$ の式で求めることができます。
ゆいさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。

だから、 $180 \div 0.6$ の答えの は、300です。

$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえますか。
下のあからえまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- あ 0.6m分の代金
- い 1m分の代金
- う 6m分の代金
- え 10m分の代金

■つまずきの例 う：6mの代金

割られる数と割る数を10倍した $1800 \div 6$ の式の割る数の6に着目して、6m分の代金を求めていると誤って考えている。(23.7%)

4(3)

(3) はるとさんたちは、限定商品を買いたいと思っています。次の予定があるので、午後3時までにレジに着きたいと考えています。
列に並ぶと、レジまでは14ボール分ありました。ボールとボールの間隔はどのくらいです。

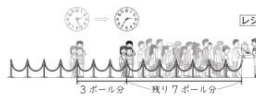


はるとさんたちが並んでから、4ボール分進むのに8分かかり、残り10ボール分になりました。午後3時までは、残り33分です。そこで、33分以内にレジに着くことができるかどうかを考えてみました。



4ボール分進むのに8分かったことから、残り10ボール分も同じ進み方で進むと考えると、
 $8 \div 4 = 2$ で、1ボール分には2分がかかります。
残り10ボール分なので、 $2 \times 10 = 20$ で、20分がかかります。
だから、33分以内にレジに着くことができます。

ところが、レジにいる店員さんが減ってしまいました。3ボール分進むのに9分かかり、残り7ボール分になりました。午後3時までは、残り24分です。
そこで、はるとさんたちは、24分以内にレジに着くことができるかどうかを、もう一度考えてみました。



3ボール分進むのに9分かつたことから、残り7ボール分も同じ進み方で進むと考えると、

3ボール分進むのに9分かかる進み方で進むと、残り7ボール分進むのにかかる時間は何分ですか。
求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。
さらに、24分以内にレジに着くことができるかどうかを、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

- 1 着くことができる。
- 2 着くことができない。

■つまずきの例

「21分間」という答えが間違っている。また、求め方も書いているが間違っている。(21.8%)

数量の関係に着目し、筋道を立てて考えられていない。

本県 43.8% 全国 47.0%
全国平均正答率との差-3.2p 無解答率 2.6%

本県 59.3% 全国 62.6%
全国平均正答率との差-3.3p 無解答率 3.6%

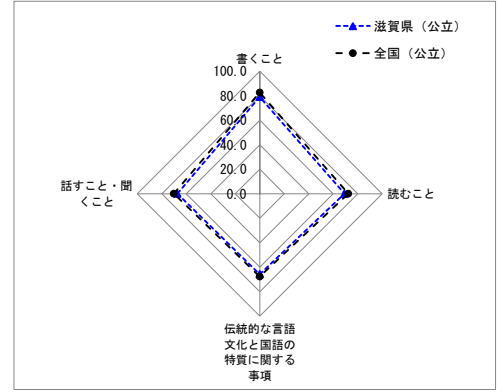
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	滋賀県（公立）	全国（公立）
	97	9,511		11,656	938,797

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）	
			滋賀県（公立）	全国（公立）
全体				
		10	70	72.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	67.4	70.2
	書くこと	2	79.0	82.6
	読むこと	3	69.1	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	65.7	67.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	72.7	76.5
	話す・聞く能力	3	67.4	70.2
	書く能力	2	79.0	82.6
	読む能力	3	69.1	72.2
問題形式	言語についての知識・理解・技能	2	65.7	67.7
	選択式	6	70.8	73.6
	短答式	1	56.0	56.8
	記述式	3	72.7	76.5
従来の区分	「知識」に関連する問題	7	68.7	71.2
	「活用」に関連する問題	10	69.9	72.8
	読み解く力に関連する問題	8	71.0	74.0

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等 (参考※) 従来の区分					問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)			読み解く力に関連する問題	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	滋賀県（公立）	全国（公立）	全国との差（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）		全国との差（公立）
1-1	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したのとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ			2ウ		○	○	○			61.6	63.9	-2.3	0.2	0.1	0.1	○
1-2	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1イ		○	○	○			57.8	61.5	-3.7	0.3	0.1	0.2	○
1-3	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ			1オ		○		○			88.0	91.2	-3.2	2.7	1.7	1.0	○
1-4	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く			1(2)ア		○	○	○			56.0	56.8	-0.8	7.1	5.6	1.5	
2-1	話合いでの発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える	1オ				○	○	○			78.2	80.4	-2.2	0.4	0.2	0.2	○
2-2	話合いでの発言について説明したのとして適切なものを選択する	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する	1ウ				○	○	○			66.8	69.7	-2.9	0.6	0.3	0.3	○
2-3	話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	1オ				○		○			57.2	60.4	-3.2	13.1	8.9	4.2	○
3-1	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する			2エ		○	○	○			85.0	87.4	-2.4	0.7	0.4	0.3	○
3-2	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く	1ウ				○		○			73.0	77.8	-4.8	12.0	7.9	4.1	○
4	語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する			1(1)イ(9)		○	○	○			75.5	78.7	-3.2	1.7	1.2	0.5	

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。

【中学校 国語】

下半期強化事項

伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと。

○取組の例

- ・毎時間、授業の始め(5分間程度)に「ガッテンプリント」をする時間を設定して取り組む。
- ・図表などを用いた説明や記録の文章・意見文などを書く言語活動に特化した学習を、学期に1回、必ず設ける。
- ・「説明的文章」について学習する際には、段落の内容を文でまとめたり、文章を読んで自分の考えを書いたりする学習を必ず行う。

○下半期に継続して取り組む「ガッテンプリント」

No	内容	No	内容
1133	分類する①②③ (書く)	1141	根拠を明確にして書く①②③④
1134	取捨選択する①②③ (書く)	1107	説明する文章②
1135	図式化する①②③④⑤ (書く)	1108	紹介文
1136	順序を考える①②③ (書く)	1109	すいせん文
1137	段落(項)に名前を付ける ①②③④	1110	複数の資料②③
1138	段落(項)相互をつなぐ言葉を用いる①②	1111	新聞の投書
1139	事実と意見を分けて書く①②③	1119	情報を読み取る
1140	引用文、図表やグラフなどを用いて書く①②③④		

【課題】 「書くこと」の領域 ○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと。

■課題が見られた調査問題 3二

「魅力」の具体例

青木さんは、「意見文の下書き」の「根拠(魅力)」の具体例に自分の体験を挙げるだけでは足りない」と考
 える。根拠を用いて「このところに文章を書き加えることにしました。あなたなら、どのような文章を書
 き出しに続けて、「広報誌の一部」を見ていない人も分かるように書きます。
 なお、読み返して文章を直したときは、「本紙で消したり行間を書き加えたりしてもかまいません」
 書き出し

また、昨年八月に青空商店街が行ったアンケート「利用者を感じる地域の店の魅力」の結果からものが
 ある。例えば、

利用者を感じる地域の店の魅力 (回答者数300人・複数回答可)

必要なものが近所で手に入る	72%
誰なじみの店員がいて安心できる	35%
高齢者への配慮がある	29%
イベントで地域を盛り上げてくれる	25%

(平成30年8月 青空商店街調べ)

■つまずきの例
 書き出しの「また、……。例えば、」に続くように書いているが、「魅力」の具体例を用いて、【広報誌の一部】を見ていない人にも分かるように正確に書くことができていない。(12.6%)

自分の考えの根拠として用いる情報が適切かどうかを検討したり、自分の考えとの関係が分かるように書いたりすることができていない。

③ 青木さんは、「地域と私たちのつながり」というテーマで意見文を書いています。次は、青木さんが書いた「意見文の下書き」と、読み返したあと新たに取材して見つけた、青木さんが住んでいる地域の「広報誌の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

最近、我が家ではインターネットを利用して買い物をする機会が増えている。それは、店に行かなくても重要な商品を運べる上、重い荷物を持たなくてよいかからだ。母も「便利になった」と喜んでいる。これは、インターネットでの買い物ならではの利点だ。しかし、我が家ではインターネットで済ませるようになったら、地域の店はいったいどうなってしまうのだろうか。

地域の店はこれからは必要だ。なぜなら、地域の店には、インターネットでは買えない魅力があるからだ。私は昨年度、学校の近くの店で職場体験をした。その店では、インターネットでは出回らない、地元産の産物や、私が自宅で作っている番薯もその店で買ったもので、地元の水で作られている。地元の産物ならではの商品を、手に取って選ぶことができるのは、地域の店の魅力だ。

我が家でも面白い物の仕方を発見し、インターネットだけでなく地域の店も積極的に利用し、その魅力をどんどん見つけていきたい。皆さんも毎日の暮らしに目を向けて、地域とのつながりにみてはどうだろうか。

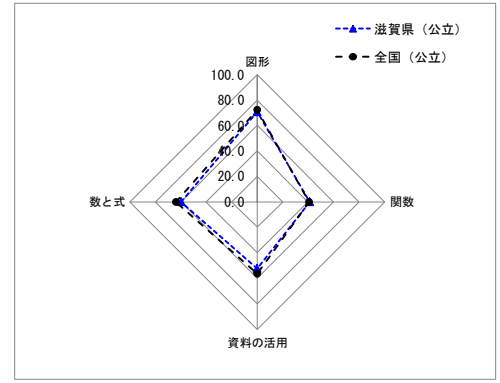
本県 73.0% 全国 77.8% 全国平均正答率との差 -4.8p 無解答率 12.0%

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	滋賀県(公立)	全国(公立)
	97	9,505		11,662	938,887
分類	区分		対象問題数(問)	平均正答率(%)	
	全体			滋賀県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	数と式		5	59.7	63.8
	図形		4	70.6	72.4
	関数		3	41.3	40.8
	資料の活用		4	52.2	56.3
	評価の観点		0		
問題形式	数学への関心・意欲・態度		8	47.1	51.0
	数学的な見方や考え方		3	63.3	63.9
	数学的な技能		5	69.3	71.3
	数量や図形などについての知識・理解		5	57.7	60.3
従来の区分	「知識」に関連する問題		8	67.1	68.6
	「活用」に関連する問題		16	57.1	59.8
	読み解く力に関連する問題		8	47.2	51.0

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域 (参考※) 従来の区分						問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			読み解く力に関連する問題		
			数と式	図形	関数	資料の活用	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	滋賀県(公立)	全国(公立)	全国との差(公立)	滋賀県(公立)	全国(公立)	全国との差(公立)			
1	a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している	1(1)ア					○	○	○				60.9	62.2	-1.3	0.3	0.2	0.1	
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2)ウ					○	○	○				67.4	70.1	-2.7	6.3	5.1	1.2	
3	$\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める	平行移動の意味を理解している	1(1)イ					○	○	○				83.0	83.6	-0.6	1.1	0.7	0.4	
4	反比例の表から式を求める	反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる			1(1)エ			○	○	○				52.4	48.9	3.5	11.1	10.4	0.7	
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる			2(1)ア			○	○	○				70.1	72.8	-2.7	5.0	3.3	1.7	
6(1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ	グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる			2(1)イ、エ			○	○					37.8	38.8	-1.0	0.5	0.3	0.2	○
6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2(1)イ、エ			○		○				33.8	34.7	-0.9	14.8	11.6	3.2	○
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2)ア					○	○	○				74.7	75.8	-1.1	6.7	5.2	1.5	
7(2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ	反例の意味を理解している	2(2)イ					○	○	○				74.7	77.2	-2.5	0.7	0.5	0.2	
7(3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(2)ウ					○		○				49.9	53.3	-3.4	22.1	17.6	4.5	○
8(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる			1(1)ア			○	○	○				53.3	57.9	-4.6	14.0	10.6	3.4	
8(2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切でない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1(1)イ			○		○				35.2	40.8	-5.6	27.6	21.3	6.3	○
8(3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ	問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる			1(1)ア、イ			○	○					50.2	53.6	-3.4	1.8	1.0	0.8	○
9(1)	説明をよみ、 $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる	2(1)イ、ウ					○		○				52.7	57.4	-4.7	12.9	9.5	3.4	○
9(2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1)イ、ウ					○		○				52.5	59.7	-7.2	24.2	17.8	6.4	○
9(3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n + 4)$ で表されたとき、 $2n + 4$ はどんな数であるかを選ぶ	総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる	2(1)イ、ウ					○	○					65.1	69.6	-4.5	3.0	1.9	1.1	○

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。

【中学校 数学】

下半期強化事項

式やグラフ、図形の性質や作図等に関する数学的な意味を正しく理解すること。
資料の傾向を読み取り、判断した理由を学んだ用語を用いて数学的に説明すること。

○取組の例

- ・ 式や表、グラフ、用語や記号、図形の性質等を正しく理解することとともに、それらが表していることの意味を正しく読み取り、説明する場面を設定する。毎時間、授業の始め（5分間程度）に「数と式」領域の「ガッテンプリント」を繰り返し取り組む。
- ・ 「資料の活用」領域において、資料の傾向を読み取り、その特徴について、学んだ用語などを用いて数学的に説明する場面を設定する。「資料の活用」領域の「ガッテンプリント」を、1年生では授業の中に時間を設定し、2年生では1年生の復習として家庭学習などで繰り返し取り組む。

○下半期に継続して取り組む「ガッテンプリント」

No	1年生	No	2年生
701	正の数・負の数 A B	709	資料の活用 A B (1年生で既習後にも取り組む)
702	文字と式 A B	801	式と計算 A B
703	一次方程式 A B	802	連立方程式 A B

※状況によって、1年生の復習に取り組む。

【課題】

「数と式」の領域

○ 式の意味を読み取り、事柄が成り立つ理由を、根拠を明確にして説明できるようにする。

「資料の活用」の領域

○ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにする。

■課題が見られた調査問題

9 (2) 「数と式」領域

(2) 二人は、連続する4つの奇数や5つの奇数の和について考えることにしました。若菜さんは、連続する5つの奇数には中央の奇数があることから、中央の奇数に着目して連続する5つの奇数の和について調べました。

1, 3, 5, 7, 9 のとき $1+3+5+7+9=25=5 \times 5$
3, 5, 7, 9, 11 のとき $3+5+7+9+11=35=5 \times 7$

若菜さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想2

連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の5倍になる。

上の予想2がいつでも成り立つことを説明します。下の説明2を完成しなさい。

説明2

n を整数とすると、連続する5つの奇数は、 $2n+1, 2n+3, 2n+5, 2n+7, 2n+9$ と表される。それらの和は、

$$(2n+1)+(2n+3)+(2n+5)+(2n+7)+(2n+9) =$$

■つまずきの例

5倍になることを示すには、 $5 \times (\text{中央の奇数})$ の式の形に変形して示せばよい、ということが理解できていない。

本県 52.5 % 全国 59.7 %
全国平均正答率との差 -7.2 p
無解答率 24.2 %

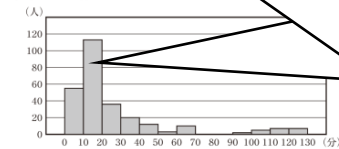
8 (2) 「資料の活用」領域

(2) 二人は、実施したアンケートをもとに、1日あたりの読書時間について、次のような表とヒストグラムにまとめました。桃子さんが作ったヒストグラムでは、例えば、1日あたりの読書時間が30分以上40分未満だった生徒が20人いたことを表しています。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」

桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

■つまずきの例

「ヒストグラムでは、10分以上20分未満の生徒が多いから」という誤答のように、航平さんが作った表の平均値とヒストグラムの特徴とを関連付けて考えることができていない。

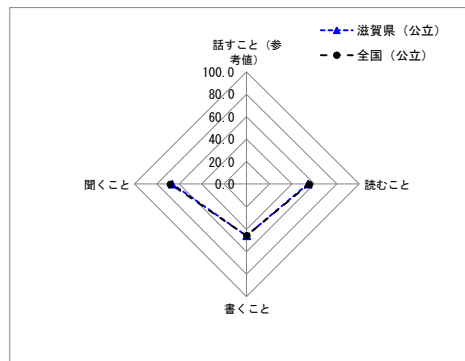
本県 35.2 % 全国 40.8 %
全国平均正答率との差 -5.6 p
無解答率 27.6 %

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	滋賀県(公立)	全国(公立)
	97	9,500		11,673	938,888
分類	区分		対象問題数(問)	平均正答率(%)	
	全体			滋賀県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	聞くこと		21	55	56.0
	話すこと(参考値)		7	66.1	67.9
	読むこと		6	54.6	55.6
	書くこと		8	45.9	45.8
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度		0		
	外国語表現の能力		1	1.6	1.8
	外国語理解の能力		6	43.7	44.7
	言語や文化についての知識・理解		14	63.9	64.7
問題形式	選択式		13	69.8	71.4
	短答式		5	46.4	45.2
	記述式		3	6.3	6.8
	従来区分		14	63.9	64.7
従来区分	「知識」に関連する問題		14	63.9	64.7
	「活用」に関連する問題		7	37.7	38.5
読み解く力に関連する問題			7	37.7	38.5

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				(参考)従来区分	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			読み解く力に関連する問題
			聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと			滋賀県(公立)	全国(公立)	全国との差(公立)	滋賀県(公立)	全国(公立)	全国との差(公立)	
1(1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる	○				○	89.6	91.1	-1.5	0.3	0.2	0.1		
1(2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	○				○	87.5	88.6	-1.1	0.3	0.1	0.2		
1(3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	○				○	70.1	72.3	-2.2	0.4	0.2	0.2		
1(4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	○				○	56.4	61.8	-5.4	0.3	0.2	0.1		
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を選び替える	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる	○				○	71.5	71.8	-0.3	0.4	0.2	0.2	○	
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる	○				○	81.4	82.0	-0.6	0.3	0.2	0.1	○	
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	○				○	6.3	7.6	-1.3	45.4	42.3	3.1	○	
5(1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる		○			○	81.3	79.4	1.9	0.3	0.2	0.1		
5(2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる		○			○	73.7	74.4	-0.7	0.3	0.2	0.1		
5(3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる		○			○	69.8	73.1	-3.3	0.5	0.4	0.1		
6	発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる		○			○	59.7	62.9	-3.2	0.7	0.4	0.3	○	
7	テンバナーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる		○			○	32.2	32.8	-0.6	1.2	1.0	0.2	○	
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる		○			○	11.1	10.9	0.2	31.1	27.9	3.2	○	
9(1)①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる			○		○	79.7	79.9	-0.2	0.6	0.3	0.3		
9(1)②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる			○		○	54.0	58.2	-4.2	0.8	0.5	0.3		
9(2)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる			○		○	73.0	73.6	-0.6	5.4	4.4	1.0		
9(2)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる			○		○	28.7	28.9	-0.2	13.8	12.6	1.2		
9(3)①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる			○		○	53.9	53.5	0.4	7.3	6.4	0.9		
9(3)②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる			○		○	36.2	32.9	3.3	10.7	9.3	1.4		
9(3)③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる			○		○	40.2	37.4	2.8	12.4	10.5	1.9		
10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよい理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる			○		○	1.6	1.8	-0.2	10.9	8.3	2.6	○	

【中学校 英語】

下半期強化事項

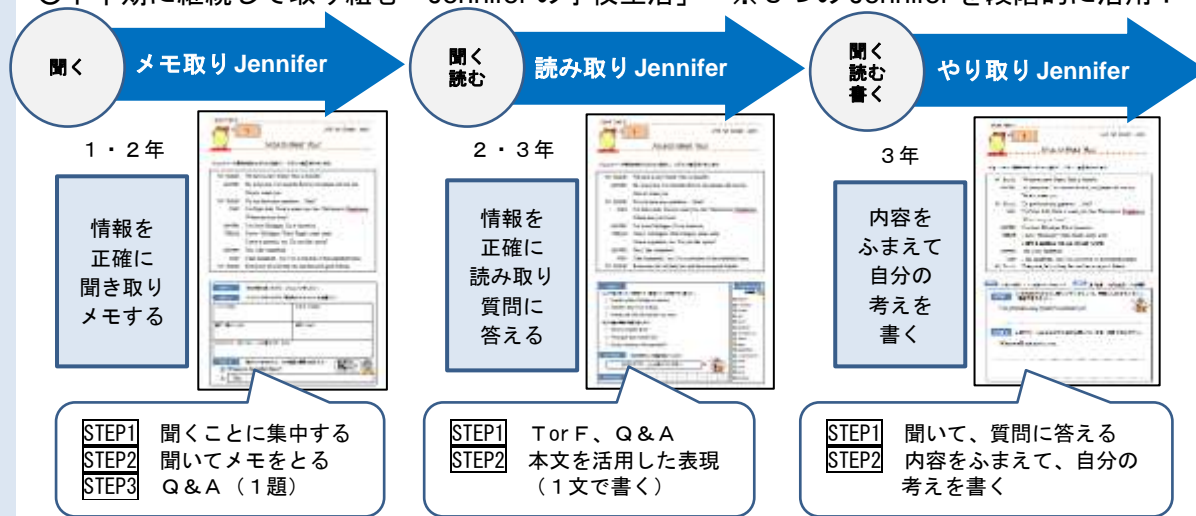
まとまりのある英文を聞いたり読んだりして、情報を正確に理解し、基本的な語や文法事項等の知識を活用して自分の考えなどをまとめて記述すること。

○取組の例

以下の活動を単元計画に位置付け、継続して行う。

- ・「メモ取り Jennifer」：情報を正確に聞き取る活動（1・2年）
- ・「読み取り Jennifer」：読み取った内容について質問に答える活動（2・3年）
- ・「やり取り Jennifer」：質問されたことに対して、聞き手・読み手として主体的に考えたり、判断したりしたことを書く活動（3年）

○下半期に継続して取り組む「Jenniferの学校生活」 ※3つのJenniferを段階的に活用！



【課題】 ○情報を正確に聞き取ること。

○聞いたことをもとにして、適切な応答を相手に返すこと。

■課題が見られた調査問題

1 (4) (放送問題) 話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。



A: I'm hungry.
B: Today's dinner is curry and rice. It will take about thirty minutes to cook. Do you have any homework today?
A: No, I don't.
B: Then take a bath before dinner.
A: OK.

■つまずきの例
before dinner という句から時間の前後関係を把握できていない。(1を選択 23.6%)

本県 56.4% 全国 61.8% 全国平均正答率との差 -5.4p 無解答率 0.3%

4 (放送問題) 英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

■つまずきの例
話し手の内容や意図を正しく理解できていない。
(アドバイスになっていない 30.9%)

本県 6.3% 全国 7.6% 全国平均正答率との差 -1.3p
無解答率 45.4%